

「**鱒米**」の名と味を
全国へ広めたい!



土門 和巳さん
(立居地/51歳)

今年開催された第1回 米飯商品米「すし米コンテスト・国際大会」で見事、すし米大賞(全国から6名)の最上位に輝いた土門さん。仁賀保有機農業研究会のメンバーらと共に「鱒米」ブランドを立ち上げ、その名と自慢の味を全国へ広げるため、日夜努力を続ける元気人です。

14年前、父が他界。

このことがきっかけで、突然農業の道歩むことになった私ですが、それまで稲作の手伝いを真剣にしてこなかったために、右も左もわからず路頭に迷ってしまいます。草刈り作業1つにしても、交代勤務をしながらでは時間も取れず、後回しになり、周辺の田んぼの方々には大変な迷惑をかけていました。このままでは、「他人に迷惑がかかる」と思い、集落の方が薦めてくださった農業研修を受講。また、父が生前、会長を務めていた「仁賀保

有機農業研究会」にも所属し、土作り等の基本を学び、試行錯誤を繰り返してきました。転機が訪れたのは5年前のこと。研究会メンバーと肥料屋との間で「にかほ市で豊富に獲れるハタハタを肥料に使えないか」と話しが持ち上がったのです。そして、ハタハタを発酵させボカシ肥料を作り、有機肥料にして土を育てることになりました。

「通過点」とこれから。

すると年々、収量が安定。また、目で見てわかるほど米が良くなっていききました。食味が高まっていることを確認した私は昨年、第15回米・食味分析鑑定コンクールへの出品を決意。結果、高い評価をいただき、第1回米飯商品米「すし米コンテスト・国際大会」の参加権利を獲得する事ができたのです。私の「鱒米」であるササニシキは白度が高いとされ、またコシヒカリは弾力があることが特徴で、どちらもすし米として最良と判断されました。



今回の結果には、本当に驚いています。これもまだまだ通過点。今後は「鱒米」が県内外に普及し、全国へ広まっていくよう、研究会メンバーらと共に、よりよい米作りを目指し努力していきたいと思えます。

広報 ～市民と行政の架け橋～
にかほ

元日本代表の技を盗め!



主な内容

- 国際交流：姉妹都市が来市……P 2～5
- 人事行政運用状況について……P 6～7
- まちの話題……P 8～9
- 行政情報チャンネル……P 12～15
- 暮らしの掲示板……P 16～17
- 戸籍の窓口、9月のカレンダー……P 19

vol.216

2014

9.15

がんばろう東北

写真：サッカー元日本代表の名波浩さんの指導を受ける市内スポーツ少年団の団員 (関連ページ8P)



作品名：楽しかった夏

みんなで畑にひまわりや、あさがおを植えたよ!
たくさん咲いたきれいな花に虫やおばけたちも遊びに来たよ!
来年もいっぱい咲くといいな～!

星城保育園
ゆきの組(年長)

子どもつ美術館
じょうずなこぎた!

企画・編集/にかほ市広報委員会 発行/にかほ市役所
〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地
☎0184-43-3200(代表) ☎0184-43-7510(直通)
電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp



第29回 国民文化祭・あきた2014

平成26年10月4日(土)～11月3日(月・祝)

広報にかほ は、にかほ市ホームページでもご覧いただけます

ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp>